



かわいの子

小中一貫型

小野市立

河合小学校

令和7年3月



—他者と共創し、主体的に学ぶ児童生徒の育成— 「強く 正しく 温かく」

“ 地域の方に学ぶ体験学習・コミュニティ・スクール導入へ”

寒波が襲来し、厳しい寒さを経験した2月が終わります。今、体育館西の桜の新芽や菜の花のつぼみが日に日に膨らんできています。少しずつやわらかな日差しも感じられるようになり、春はすぐそこまで来ています。

今年度も様々な行事や活動をとおして子どもたちが自信をつけ、着実に成長していく姿に喜びを感じています。保護者や地域の皆様にも様々な場面で子どもたちに関わっていただき、子どもたちの学びにお力添えをいただいたこと、心より



感謝申し上げます。特に2月から3月にかけて、1年間の学習や体験の積み重ねで蓄えられてきた力が良い形で表出され、「成長したねえ。」と先生方と話すことが増えています。



一人ひとりが今年1年間積み重ねてきた努力を糧に、次の学年での新たな目標をもってチャレンジすることを願っています。4月からは一つ学年が上がり、新たなステージに移りますが、子どもたちが希望を持って新年度を迎えられますよう、教職員一同力を合わせて準備を整えて参ります。引き続きご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

さて、来年度から小野市でもスタートしますコミュニティ・スクールについて紹介します。

コミュニティ・スクール

◆ コミュニティ・スクールとは？

- ・「学校運営協議会」を設置している学校のことで、学校と地域住民が力を合わせて子どもたちのよりよい環境づくりに取り組む「地域とともにある学校」を目指す仕組みです。
- ・コミュニティ・スクール（学校運営協議会）は、PTAや学校評議員よりも学校運営に強く関わる仕組みであり、学校評議員会を発展させた組織と言えます。

◆ コミュニティ・スクール導入後の効果として期待されること

- 学校や子どもに対する地域の方々の理解が深まり、学校への支援が強化されることによって、地域の人材や史跡、文化施設等、多様な教育資源を活用した教育活動が広く展開されます。
- 地域と連携した様々な教育活動を通して、子どもたちに自己肯定感や地域への愛着が生まれます。
- 学校と地域が教育活動に関する情報を共有することでお互いに顔が見える関係となり、保護者や地域の学校に対する理解が深まります。保護者や地域に学校を支援しようとする風土が醸成され、教職員は本来の業務に専念しやすくなります。
- 地域の課題解決に向けた取り組みや大規模災害時の緊急対応等に、学校と地域が一体となって取り組むことができます。→来年度重点的に取り組みたいと考えています。

新1年生1日入学2/6



児童会引継ぎ2/7



「立場や役割が人を育てる」と言われます。学校ではまさにその言葉どおりのことが体现されます。上級生の立場、児童会役員の役割、子どもたちは少しずつ背伸びしながら立場や役割を全うします。そこで達成感や自己肯定感が生まれ、次の意欲につながっています。

元気アップ（大縄大会）2/14



地域の方から三味線と本を寄贈いただきました。子どもたちの情操教育に役立てたいと思います。いつも子どもたちを見守り、気にかけてくださる方々がたくさんいらっしゃる地域の中で育つ河合小学校の児童は本当に幸せだと感じています。ありがとうございます。



3月の主な行事予定

6日（木）5年期末テスト（国社）	12日（水）大掃除（教室ワックスがけ）
7日（金）5年期末テスト（算理）	13日（木）廊下ワックスがけ
町別児童会（登校旗指導）	21日（金）出発式
10日（月）委員会	24日（月）修了式
11日（火）5年愛校作業	25日（火）春季休業日（～4/6）

< 4月当初の予定 >

- ・ 4/4（金）新学期準備（新5年生登校）
- ・ 4/7（月）始業式
- ・ 4/8（火）入学式
- ・ 4/9（水）新2～5年給食開始